

歩こうかい 11 月例会(通算 361 回)

旧東海道三河国をあるく ② 東公園の紅葉と岡崎城下二十七曲り

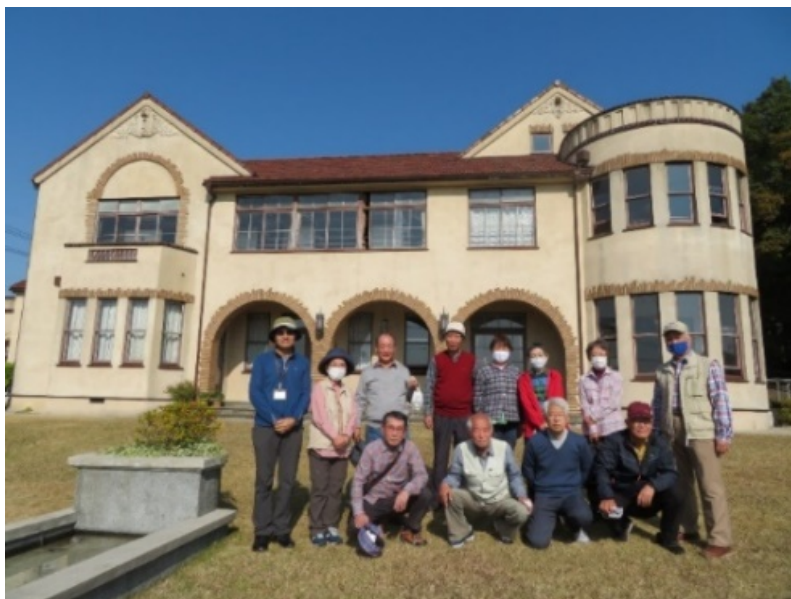
令和 2 年 11 月 18 日(水)

天気:晴れ ・参加者 12 名 <12,000 歩>

11 月中旬とは思えないほどのポカポカ陽気となり、楽しい一日を期待して集合場所の名鉄東岡崎駅に各々向かうが、途中東岡崎駅近くで列車の人身事故が発生。4 名は予定時刻までに到着出来たが、8 名の乗車した後続の列車は手前の駅でストップ。幸い迂回路があった為、JR 岡崎駅経由で最初の目的地「東公園」に予定の 40 分程遅れで到着。先に着いた 4 名と合流する。

東公園入口に建つ旧本田忠次邸をバックに記念撮影の後、館内を見学。本田忠次は忠勝を始祖とする旧岡崎藩主本田家の子孫で、この邸宅は東京・世田谷に建てた住宅と壁泉の一部を移築復原したもの。当時ブームとなっていた田園趣味を反映させたスパニッシュ様式を基調とし、国登録有形文化財に指定されている。市民憩いの場となっている公園内を、紅葉を楽しみながら回り、のどかな雰囲気漂う池のほとりで昼食をとる。

12 時 30 分頃公園を出発し、しばらく歩いて旧東海道に入ると 20 分程で二十七曲り碑と冠木門に到着。城の東、北、西を三方囲むように東海道を屈曲させたのが二十七曲りで、街道沿いには本陣跡や総門跡の石柱が建てられている。案内図を見ながら金の草鞋をあしらった案内柱や道標を探し、40 分程歩いて籠田公園に到着。小休憩の後 30 分程歩いて岡崎城に着く。城の敷地内は公園になっており、色づき始めた紅葉や黄金色に敷き詰められた銀杏の絨毯を楽しみ、ゴールのカクキュー八丁味噌の郷に到着。みそ味のソフトクリームを味わいながら歓談後、14 時 30 分頃解散する  
記:奥村 正忠



本田忠次邸



邸内を見学



池を囲む紅葉が美しい



紅葉を楽しみながら園内を回る



二十七曲り碑と冠木門



二十七曲り案内柱と道標



岡崎信用金庫資料館



岡崎公園の銀杏



岡崎城天守閣



西総門跡



八丁味噌の郷